

令和5年ホヤ類調査結果速報 No. 4

令和5年10月13日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試HPでも見ることができます。

【アドレス：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/>】

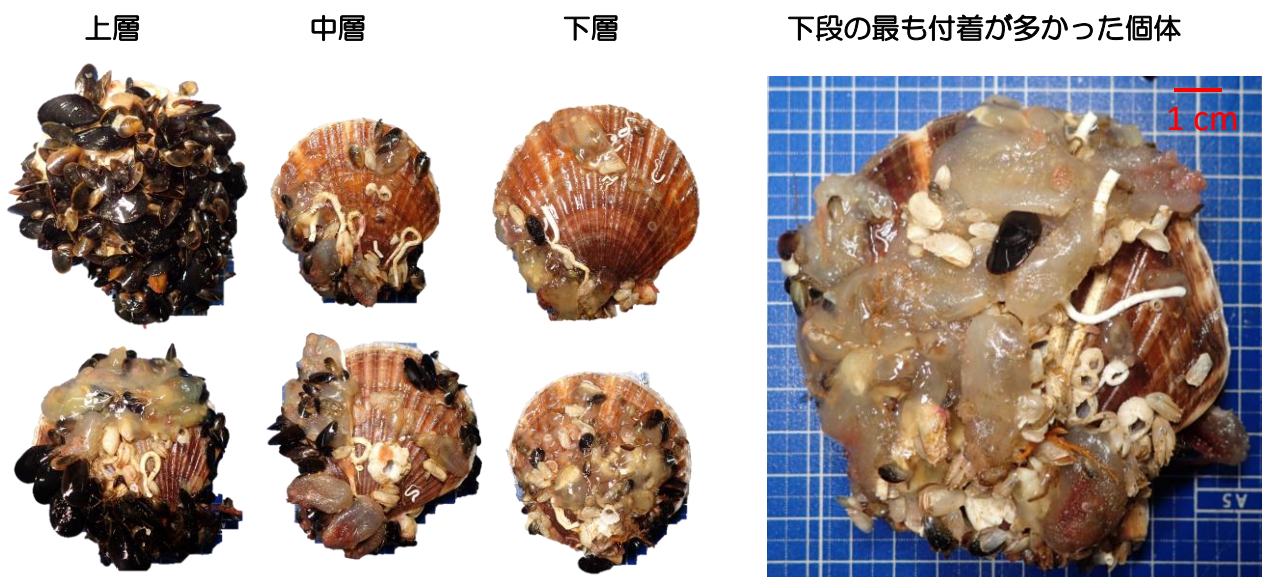
10月11日に渡島管内八雲地区において、耳吊ホタテガイ付着物の調査を行いました。

結果概要

※「平年」とは「過去10ヶ年平均」を表します。

- 耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着個体数は、9月から横ばいでした。
- 平均付着個体数および平均付着重量はいずれも平年の約1/10でした。
- 5mm未満の微小な個体は全く確認されず、耳吊りホタテガイへの新たな付着はほとんどなかったと考えられます。
- 今年は付着量が少ない年と考えられますが、耳吊り時期や場所により、付着量にはバラツキがあります。付着が多い場合は、貝洗い等の対応を進めてください。

図1 ホタテガイに付着するヨーロッパザラボヤ 令和5年10月13日 八雲地区



問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 水上・夏池 TEL：0138-83-2893

※本調査および情報配信は特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構から委託された令和5年度有害生物（ザラボヤ）出現情報収集・解析及び情報提供事業で実施しています。

耳吊りホタテ貝付着物調査

【調査月日：10月11日、調査場所：八雲沖、採取数：上中下層 各5枚】

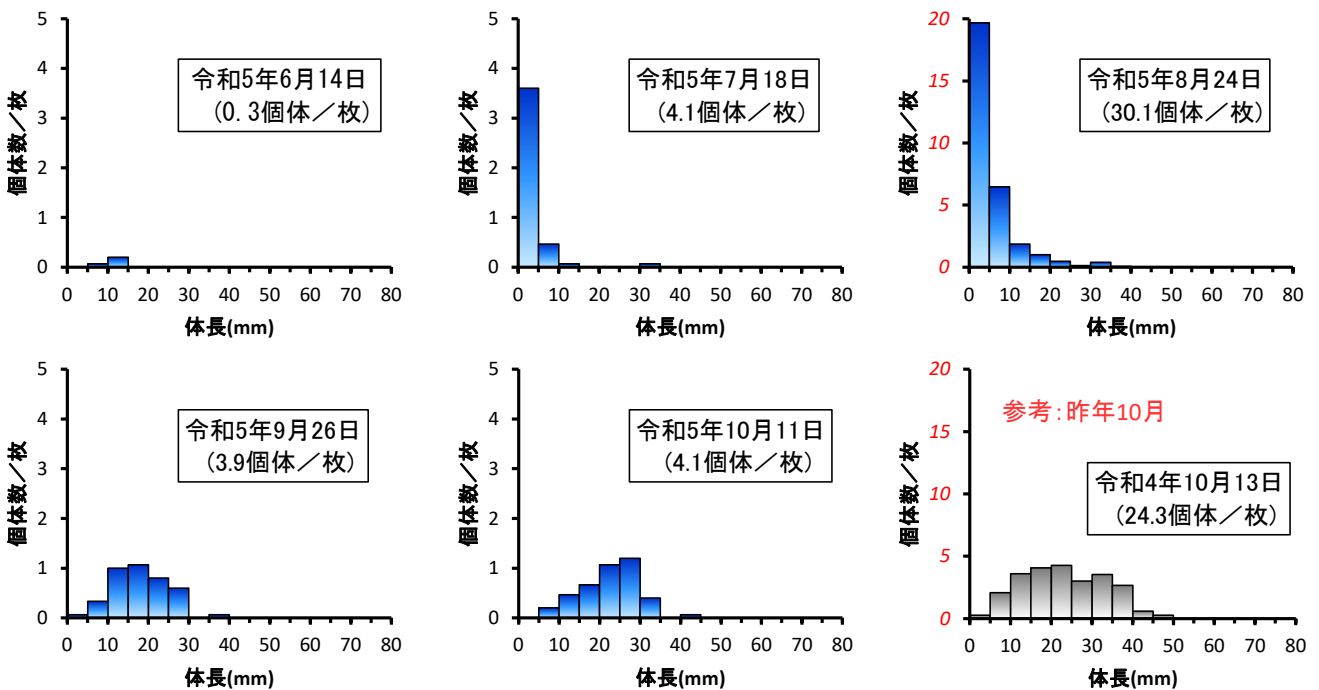
ホタテガイを上層、中層、下層から5枚ずつ抽出し、付着物を調査しました。ヨーロッパザラボヤの平均付着個体数は、ホタテガイ1枚あたり4.1個体（過去10ヶ年の平均33.1個体）、平均付着重量は同6.4g（同65.5g）でした。付着数は前回調査（3.9個体）から横ばいでした。また、平均サイズは22.7mm（過去10ヶ年の平均24.5mm）と平年よりも小さめでした（表1、図2）。なお、5mm未満の新規付着個体は全く確認されませんでした（図2）。

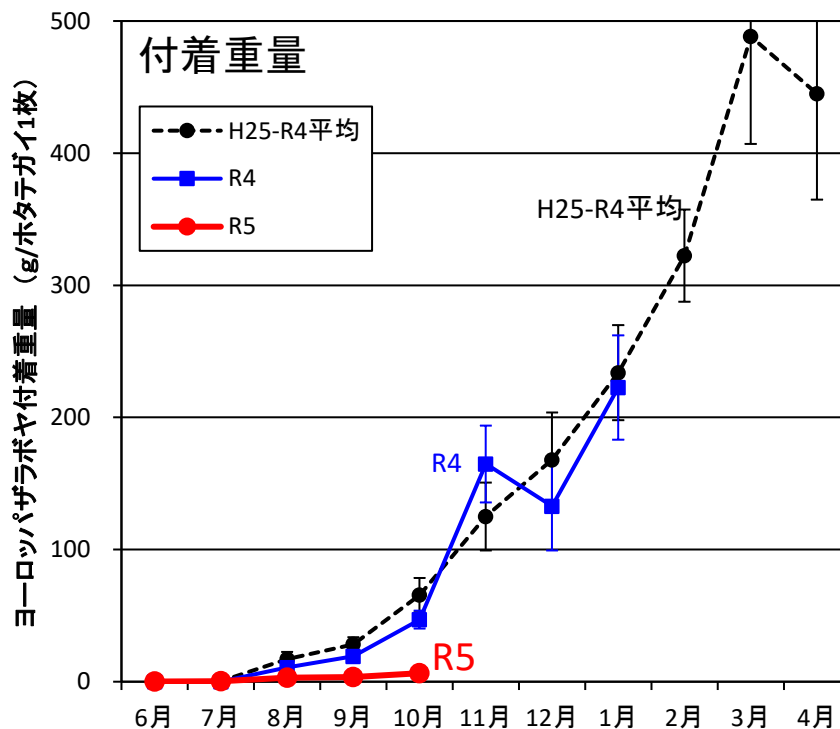
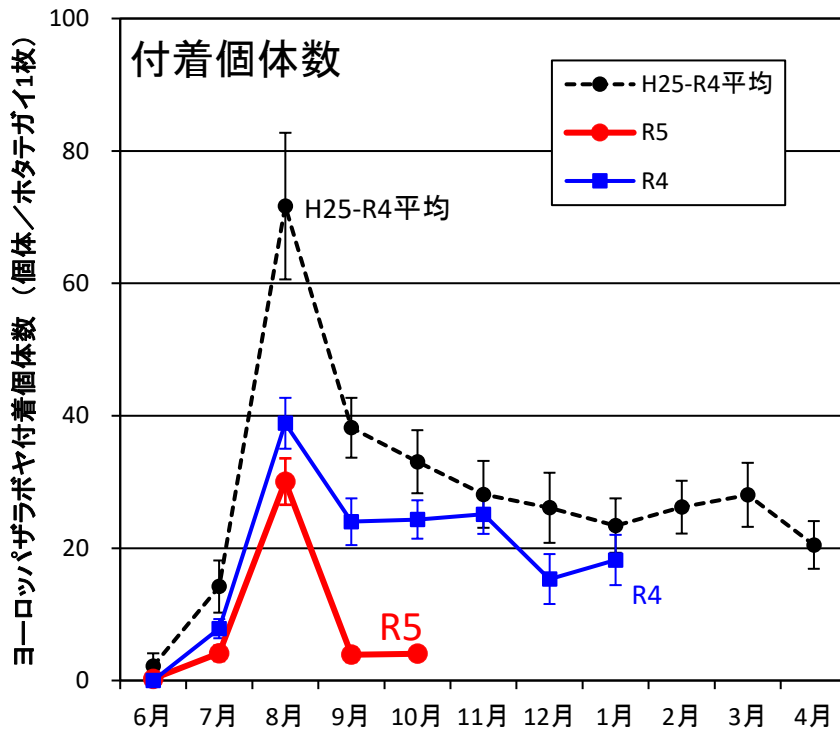
今年のヨーロッパザラボヤの付着数及び重量は前回と同様に過去10ヶ年平均の約1/10と非常に少ないです。一方、その他付着重量は40.5gと昨年同期（37.0g）よりもやや多いです。

表1 付着生物調査結果（八雲地区：令和5年10月11日）

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	平均
全付着物重量	73.9g	42.1g	24.8g	46.9g
ヨーロッパザラボヤ	6.7g	7.0g	5.6g	6.4g
その他	67.2g	35.1g	19.2g	40.5g
ヨーロッパザラボヤ個体数	4.2個体	4.0個体	4.0個体	4.1個体
令和4年10月（R3.10.13）の個体数	21.8個体	23.0個体	28.2個体	24.3個体
令和3年10月（R3.10.12）の個体数	5.6個体	12.4個体	15.2個体	11.1個体
令和2年10月（R2.10.16）の個体数	35.6個体	42.2個体	17.8個体	31.9個体

図2 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲地区：令和5年6～10月）





上：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化
 下：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化
 各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。
 過去10ヶ年（H25～R4年）のデータでは、ヨーロッパザラボヤのホタテガイへの付着個体数は7～8月に大きく増加し、8～9月に大きく減少した後、10月以降は緩やかに減少します。付着重量は10月以降、急激に増加します。